



三春中学校だより

第 63 号

発行日 平成 31 年 2 月 22 日

発行所 三春町立三春中学校

電話 0247-62-2181 F A X 0247-62-6978

E-mail miharu-j@fcs.ed.jp

【教育目標】『三春に暮らす生徒一人ひとりに、将来に対して喜びと生きがいのある人生を主体的に創造する力を育み、地域に信頼され、ひいては、国際社会に貢献できる人材を育てる』

【ふと立ち止まった素敵な発想です！ ～さまざまな工夫や発想を凝らす楽しさ～】



子どもたちの発想は私たちを楽しませてくれます。校舎を巡って歩くと、ホームベースの入口に豚さんの絵が飾ってありました。豚さんの右の鼻の穴に当たる部分が四角くくりぬかれています。ホームベースの電灯のスイッチが壁から出ていました。吹き出しには、「僕の鼻をほじったら幸運まっている！」と書かれています。「いなくなるときは電気を必ず消しましょう」とは書かれていません。見る者の好奇心をくすぐる素敵なポスターだと思いました。委員会活動の活動の成果でしょう。自らの考えを相手に伝えること、しかも、わかるように伝えることは意外と難しいものです。相手意識がしっかりしていないと、伝えつもりでも独り善がりになってしまうこともあります。子どもたちの豊かな発想に感心しきりの機会となりました。

【家庭科『郷土料理学習』開催！ ～『ザクザク』『ほうろく焼き』など郷土の味に舌鼓～】

2月20日（水）より3回にわたり、地域のみなさんに講師をご依頼し、家庭科の学習『郷土料理学習』を開催いたしました。

その初日、3名の講師の先生方にご来校いただき、調理室を使い、第2学年家庭科の授業から学習が始まりました。講師の先生のご講話をいただいた後、いよいよ、郷土料理の調理実習に取りかかりました。『ザクザク』と『ほうろく焼き』の実習に取り組みました。郷土の食文化にふれ、地産地消の一端にふれ、感謝の心と郷土愛にも考えを巡らすことができました。本校『食育』推進事業との関連もふまえつつ、食べることを通して生きるということについて考える機会となりました。



【家庭科『郷土料理学習』で作りました！

～おいしい調理と温かい心を味わいました。～

2月20日（水）、校長室で仕事をしていると、いつも開けてある扉を横切るおしとやかなげのようなものが見えました。心配事を相談に来て入れない女子生徒かなと思って待っていると、両手にお皿と小鉢を持った短髪の男子生徒が入ってきて、「〇年△組の◇◇です。」「調理実習で作ったので…。」と話してくれました。とてもおしく、ペロツといただいてしまいました。きれいに洗剤で洗っておくと、今度は、先ほどの女子生徒が来室し、食器を下げてきてくれました。

その日いちばんうれしかったことでした。



【PTA運営委員会・監査会開催！ ～1年間本当にお世話になりました。～】

2月20日（水）に、本年度の三春中学校父母と教師の会の総まとめとして、監査会・運営委員会が開催されました。

運営委員会に先立ち、3名の監査のみなさんによる監査会が実施され、現段階での会計面での区切りとなりました。監査のみなさん、ありがとうございました。その後、ランチルームにおいて、18：30より運営委員会が開催され、各学年委員長様、各委員会委員長様、各方部長委員長様の出め席をいただき、1年間のまとめと反省が発表されました。事務局の方からは、事業報告・計画、会計中間報告・予算案提案、役員推薦委員長の要田方部長様より次年度役員選考の見通しなどが提案されました。

P T Aのみなさんのご理解・ご協力・ご支援を得、学校の教育活動をしっかりと支えていただき、子どもたちにとって充実した教育活動を提供することができたのではないかと心より感謝申し上げます。今後とも、P T Aと学校との緊密な連携のもと、子どもたちのよりよい未来の現にむけ教育活動を展開してまいりますと存じますのでどうぞよろしくお願いいたします。



【目立たないけれど大切なこと！ ～寒い朝も割といいものです。～】

最近、吹く風以外は、意外と冬の朝でも暖かく校門に立っていることができます。校門にいと校内では見られない子どもたちのがんばりを目にもすることもできます。そんな姿に接することは、心の健康にとってもいいものです。止められなくなります。

毎日、子どもたちが校旗を掲揚に町駐車場側の掲揚台にやってきます。寒いときは手がかじかんでうまく結ぶことができないことがあります。しかも、結ぶひもが劣化してほつれ、短くなっていました。子どもたちが帰ったあとで新品の組紐を、それまでより少し長くしてつけ替えましたが、少しは結びやすくなりましたか。いつものこととはいえ、毎日の活動に、(すごいなあ。ありがたいなあ。) といつも思って、「いつもありがとうね。」と声かけします。また、先日は、風の強い日があり、スクールバス管理センター前の交通安全・飛び出し注意の立て看板が倒れていました。登校してきた1年生の男子が、倒れている立て看板を当然のようにもどのように立て直してくれました。「看板、ありがとうね。」と声をかけると、(そんなの当たり前じゃないですか。) という顔をしてすっーと校門を通り過ぎていきました。(立派な子だなあ。) と思いました。一方、校庭での陸上の朝練は、10人に増えてきました。苦しくてもあえて挑戦する気持ちが、(偉いなあ。すごいなあ。立派だなあ。) と思いました。当たり前のように、意外と難しい、大切なことについてのお話でした。



【来年度よりフッ化物洗口が始まります！～フッ化物洗口の説明会を開催しました。～】

三春町では、平成31年度から、町内の中学校においても、『フッ化物洗口』を実施するようになりました。小学校においては、すでにフッ化物洗口が実施され、効果が上がっているようです。この日は、町教育委員会の担当者とともに、使用するフッ化物の医薬品業者の方が三春中学校を訪れ、子どもたちの指導にあたり、一緒に、う歯のない健康的な歯づくりに取り組む先生方に対する説明会を実施しました。

2019年度、準備ができ次第、保護者のみなさんの同意をいただいたうえで、フッ化物洗口に取り組んでまいります。

